



住み慣れたところで安心して暮らし

訪問看護

ステーション

公益社団法人
肝属郡医師会立

垂水市地域包括
ケアセンターは、
垂水中央病院
裏手にあります

垂水市地域包括 ケアセンター

垂水市では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援や体制整備の拠点として、平成29年4月に「垂水市地域包括ケアセンター」を開設しました。センターは、①垂水市保健課地域包括ケア係、②垂水市地域包括支援センター、③垂水中央病院在宅療養支援部、④肝属郡医師会立訪問看護ステーションの4つで構成され、各機関が連携し、さまざまな支援を行っています。今回は、その中でも、自宅での生活を支援する「訪問看護」についてご紹介いたします。

◎センターの主な機能

- ①総合相談・支援
医療、介護、認知症などの相談内容を関係機関と連携し、支援につなげます。
- ②医療面からの支援
在宅で医療が必要な方には、医師の指示に基づき、医療面からの支援を行います。

訪問看護について 聴きました

Q1 訪問看護はどんなサービスですか？

看護師が自宅に訪問して、利用者一人一人の状態に応じた看護を行います。健康管理や回復に向けた支援をします。

Q2 どうしたらサービスを受けられますか？

かかりつけの医師や介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談するか、地域包括ケアセンターへご相談ください。必要な手続き等について、ご案内いたします。分からないことはまず、ご相談ください。



公益社団法人肝属郡医師会立
訪問看護ステーション
管理者看護師 川原 喜恵子 さん

Q3 市内でどのくらいの人が訪問看護を利用していますか？

垂水市内で約60人ほどの方が利用されています。病状が重く、治療が必要な人が利用されているほか、症状が比較的軽い人も利用されています。症状の軽い状態から、回復に向けて支援することも訪問看護の大切な役割です。

Q4 どんな人が訪問看護に来てくれますか？

地域包括ケアセンターの訪問看護ステーションは、現在看護師3名とリハビリ専門員3名を配置しています。医療面での看護師の在宅訪問看護や、理学療法士・作業療法士が利用者の自宅を訪問し生活に合わせたリハビリを行います。

垂水市に訪問看護ステーションができたことで、訪問看護を必要とする誰もがサービスを受けられるようになりました。住み慣れたところで安心して生活を送るため、訪問看護のを知っていただけだと感じます。

利用者の方のお宅に伺いました



垂水市いちばんのご長寿！
坂元 ムメノ さん (105歳)

この日、訪問したのは、市木地区在住の坂元ムメノさん。週に2回、看護師が訪問し、健康状態の観察や排泄などの介助を行っています。一緒に暮らす次男・坂元弘人さんは「訪問に来ていただけるのでとても安心します。母も喜んでいて、嬉しいですね」と話されました。

⑧ リハビリテーション

訪問看護のリハビリでは症状に応じて、理学療法士や作業療法士が担当し、医師の指示に基づき体の機能回復をサポート

⑦ 認知症・精神疾患へのケア

認知症の方への介護の相談や対応方法の助言、心の状態のケア、生活習慣を整えるサポート、社会復帰、服薬の説明サポート等

④ 床ずれ予防・処置

床ずれ予防の工夫や指導、手当

③ 小児へのケア

心身的、精神的成長のサポート、生活支援や教育のアドバイス等

② 療養上のお世話

身体の清拭、洗髪、入浴介助、食事、排泄などの介助・指導。

① 病状の観察

定期的な訪問により異常の早期発見、対応

訪問看護サービスをご紹介します！

スタッフの皆さん

⑥ ご家族への介護支援・相談

家族への介護状況や健康状態に配慮し、生活全体を考えた介護指導、精神的な支援

⑤ ターミナルケア

がん末期や、人生の終末期を住み慣れた場所で過ごせるよう、症状の緩和や心のケアに配慮し、看取りのお手伝い

◎お問い合わせ：肝属郡医師会立訪問看護ステーション
☎ 0994-36-8990（垂水市地域包括ケアセンター内）